

# NPO実践学Ⅱ

活動を進めるために

日時：平成19年12月8日（土） 10:00～12:00

講師：鶴岡 朗（環境市民東海事務所 所長）

## 概況



### ■NPOの運営手法 ヒト・モノ・カネ

はじめに、プログラムを企画運営するときに大切だと思われる要素をみんなで挙げていきました。目的、対象、参加人数、スタッフ、企画(5W1H)、予算、広報、備品・・・たくさんの要素が挙がりました。限られたスタッフの中で、スタッフ相応のプログラムにするのか、協力者を増やして目標を高くするのか・・・プログラムを運営することについてイメージしながら考えました。その中で、「記録」と「記憶」は、お金で買えない財産であるということを強調されていました。

次に、環境市民で行った事業の実例のお話がありました。平成18年地球温暖化防止活動モデル事業「でらKETTAmap」は、名古屋市栄周辺エリアを対象に、自転車にのろう！と呼びかけ、マップを作成するという事業で、少ないスタッフ数で1,500人へ呼びかけをしたということです。この事業が成功したのは、「ヒト」の力が大きいという言葉が印象的でした。広報活動のポスター貼りひとつをとっても、人と人とのつながりが広がることで、情報も広がっていくことでした。また、チラシを切り抜いて缶バッジにするといった遊び心も紹介してくださいました。

### ■ケーススタディ

実際にプログラムを行おうとする時に、考えるポイントは「いつ・どこで・だれが・なにを・いつまでにやる・いくら」で、事業を実施するという仮定で、具体的に予算(収入・支出)やスタッフについて考え、ディスカッションしました。予算については、各費用のバランスや収入の手段についての話がありました。

最後に、人と人とのつながりを大事にしてほしい、その人の生き様を大事にしてほしい、という言葉がありました。見えないところで活動を支えてくださっている方々を大切にしていこうという思いが、伝わってくる講義でした。